

学校、家庭、地域社会が 一体となって

高校生をもつ親の会発足

岡方地区で高校生をもつ親の会が発足し、一月二十二日、大阿賀荘で設立総会が開かれました。

この会は、学校、家庭、地域社会が一体となって、健全な高校生の育成を推進することを目的に、つ

くられたものです。

会が結成されるに至ったのは、昨年の十月、新潟市の繁華街で暴走行為が行われ、その中に地区の少年たちが多く含まれていたことに端を発しています。

総会では、会設立の経過説明の後、会則の審議、役員の選出などを行い、目的達成のためのスタートをきりました。

また、豊栄高校の生活指導担当倉田岩雄先生の「高校生の現状」と題した講演がありました。「物やお金を与えるのが親の愛情だと勘違いしている」「親子の間でもあいさつが大切である」など、倉田先生の講演に、集まった約四十五人の保護者は、うなずきながら聞き入っていました。

会の主な事業は、関係高校の教職員を招いて懇談会を開催する、講演会等の会員相互の研修を行うなど、親の研修が中心になっています。

なお、役員は岡方地区を二つに分け、それぞれ代表者を選出、次のように決まりました。

少年非行の状況と対策

豊栄警察署

防犯少年課長 後藤 照雄



会長―後藤重彦(十二)、副会長―桜井芳男(大瀬柳)、会計―山崎勝(高森)

一、管内の状況

豊栄警察署管内の昨年一年間における少年非行の状況は

○ 検挙補導した者が、窃盗などの刑法犯で八十四人、シンナー乱用などの特別法犯で三十五人(昨年十四人)、補導にとどめた者が、飲酒、喫煙などで七百六十二人となっております。

○ また、新潟中央署と豊栄署で昨年検挙補導した、二つの暴走族グループについては、地域的

に大きな課題を残している状況です。

○ 一方、昨年五月女子高校生らが、暴力団員に覚せい剤を注射された事件は、県内まれに見るもので、教育界にも大きな課題を与えました。

二、非行防止対策

○ 地域、職場、学校、家庭が一元となって、少年の健全育成対策を真剣に推進する。

○ 少年非行を助長するような有害環境を一掃する。

杓子潟土地改良区の 石山理事長死去

石山徳一さん(浦木、七六歳)が、二月五日亡くなられました。

石山さんは、旧長浦村の村長、豊栄町の助役(九年間)、教育長等を歴任し、杓子潟土地改良区の理事長を勤めておりました。

市政の進展に寄与したことにより、昭和四十七年、市の功労者として表彰されています。

熊倉已一郎さん死去

熊倉已一郎さん(早通、七八歳)が二月九日亡くなられました。

熊倉さんは、早通小学校教育振興会役員、簡易水道組合議員等を勤めました。

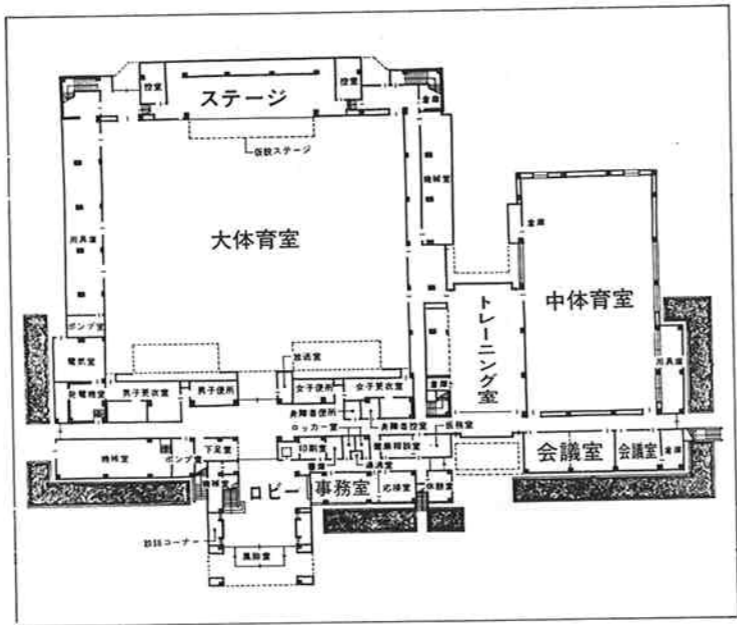
地域の教育と保健衛生の向上に尽力したことにより、昭和五十四年、市の功労者として表彰されています。

○ 少年の社会参加活動をおし進める。

などが言われております。

次の世代を担う少年の健全育成に向けた施策が、みんなの手でうち出される必要を痛感します。

総合体育館建設工事を契約 完成は来年6月



1階平面図

一月二十六日に開かれた市議会臨時会で、総合体育館建設工事の請負契約締結が議決されました。

体育館本体の建築工事は、十八業者を指名し競争入札を行った結果、新潟市の東急建設(株)北陸支店が九億四千万円で落札しました。

また、空調、電気、衛生設備の附帯工事費などを合わせた総額は約十三億七千六百万円となり、一

括発注するものとしては、かつてない大きな工事になりました。

市長は、工事金額などの関係で市内建設業者が指名参加できなかった代りに、実際の施工に当たってはできるだけ市内業者を使うよう、請負者に異例の要請をしました。

待望の体育館は、来年六月末までに完成する予定です。

一月二十五日 相撲の畠山君のことを、十二月号のこの欄に書きました。その畠山君がヒョッコリ訪ねてきてくれました。初場所は五勝二敗のいい成績でした。先場所の一勝六敗は、カゼで体調を崩していたからだそうです。大男総身に知恵がまわりかね、と昔の川柳にあり、力士はぶ男が多かったものですが、今は違います。畠山君は大男ながら美少年で、利発な顔つきです。さらに必要なのが根性です。市民の期待に応えがらば

中身の日記

てください、と激励しました。

二月一日 昭和五十九年度一般会計予算の編成を終わりました。総額八十六億五千六百万円で、前年度より五割増の大型予算です。中でも建設事業費は三十億六千六百万円で七・三割増です。都市計画街路、下水路、早通中学体育館、岡二小校舎、仏伝橋、早通踏切、総合体育館などの継続事業に、新規事業とはいいながら、緊急を要する岡一小校舎改築、葛小と早通中の水泳プール新設費を計上しました。減税と地方交付税減額の年

石井耕一

に出はじめました。積雪は一メートル以上となり、屋根の雪おろしも必要になってきました。まだ大雪警報が続いていますので、対策本部を設置したものです。除雪する道路延長は二八七キロメートル、市道総延長の八五割あまりです。他市町村より除雪がわるい、という批判もありますが、除雪率は最高のはず。除雪費は三千万円を超えました。人の寝ている時間を、寒風にめげず作業をしている人たちに一言声をかけ、励ましてやってください。